

PTA会員の皆さまへ

平成30年1月吉日

船橋希望学舎  
世田谷区立船橋小学校  
校長 新村 出  
PTA会長 森田洋子  
研修グループ

## 平成29年度 船橋希望学舎合同家庭教育学級 報告書

テーマ：『親から子どもに伝えるお金の大切さ ～教育費とおこづかい～』

講師：八木 陽子（やぎ ようこ）氏

（株）イー・カンパニー代表 ファイナンシャルプランナー／キャリアカウンセラー

親子で一緒にお金と仕事を考える「キッズ・マネー・ステーション」主宰

日時：平成29年12月9日（土）14：00～16：00

場所：船橋希望中学校 2F 多目的ルーム

参加人数：171名



（来賓22名、船橋希望中58名、希望小30名、千歳台小23名、船橋小38名）



今年度、船橋希望学舎ではファイナンシャルプランナーの八木陽子先生をお招きし、教育費やおこづかいなど、日頃気になるお金の話についてご講演いただきました。

先生は10年以上の仕事実績と消費者の視点から、誰よりもわかりやすく楽しく「お金」「経済」「キャリア」を伝えるお金の伝道師としてご活躍中です。

豊富なカウンセリング経験と講演実績をお持ちの先生のお話はとても身近でわかりやすく、具体的な取組み方法についてもご教示いただけたことで、今後実践していきたいという声を多くいただきました。また、先生の出されたテーマについて参加者同士で話し合う時間を設けていただいたことで、より明確に各家庭の現状を振り返ることができ、課題や今後の目標を設定できた方も多かったようです。

本研修にご参加、ご協力いただきました皆様には担当者一同、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

## なぜお金のことを学ぶの？

社会構造や家庭環境は変化しています。国からは年金、企業からは退職金がたっぷりもらえた制度に守られていた時代は終わり、年金は自助努力の時代です。家庭ではネット通販が当たり前になり、子どもの数は減っていますが教育費の負担は減っていません。金融決済の変化に伴い、今や現金しかなかった時代からお金が見えなくなっている時代になっています。

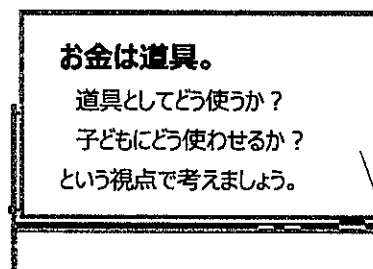
また、お金のトラブルはオレオレ詐欺に限らず、未成年の間でも増加しています。友達に電子マネーを渡してしまった、ネットで契約をしてお金を振り込んでしまったなどの悪徳商法に引っかかることも少なくありません。

みなさんのお子さまはPASMOなどの電子マネーを持っていますか？（参加者9割が挙手）

電子マネーの時代、お金が見えないからこそ、お金の大切さ、役割、お金がどこからやってくるのかを、お金の重さを感じられない子どもたちに伝えていく必要があるのではないのでしょうか。

## まず「自分のお金の価値観」を知ろう

今まで一番よかったと思える「お金」の使い方、今まで一番残念だったと思える「お金」の使い方を振り返って考えてみて下さい。まずは自分のお金の価値観を知りましょう。



**お金は道具。**

道具としてどう使うか？

子どもにどう使わせるか？

という視点で考えましょう。

お金はあくまで道具です。日本では「お金のことは考えたくない」など、お金のイメージが悪いですが、子どもに道具としてのお金をどう使わせるか、という視点で考えてみるのが大切です。

## 教育費：目安を知ろう

小学校6年間の教育費の月額平均は約2.6万円（学校教育費、給食費、学校外活動費を含む）です。これを高いと感じるか、低いと感じるかは人によりそれぞれです。

子どもにかかるお金、かけるお金は、家庭の方針や価値観が現れます。選んでいないようで実は選んでいるのではないのでしょうか。塾費用は中学受験で250～300万円、高校は3年生で100万円くらいと言われます。受験のための塾、受験費用、おこづかい、交際費、洋服代、パソコンやスマホ、通信費、仕送り、家賃、留学費用…様々な費用がかかります。



### ■教育費の目安

#### 1) 概算

	幼稚園 (3年)	小学校 (6年)	中学校 (3年)	高校 (3年)	大学 (4年)
公立	67万円	193万円	145万円	123万円	460万円
私立	149万円	921万円	402万円	299万円	文系670万円 理系840万円

#### 2) 月額に直す・・・

	幼稚園 (3年)	小学校 (6年)	中学校 (3年)	高校 (3年)	大学 (4年)
公立	2.4万円	2.6万円	4.0万円	3.4万円	9.6万円
私立	4.2万円	12.8万円	11.2万円	8.3万円	文系14.0万円 理系17.5万円

※公立幼稚園、公立小学校、公立中学校は、  
※公立高校は、公立高校の費用。  
出典：文部科学省「子どもの教育費負担」  
※公立大学費「教育費負担の軽減策」より転載



## 教育費：時間を味方につけよう

お金の世界で時間を味方にするのは大切です。

大学、短大、専門学校進学に備え、高校3年生の夏までに大学4年間の学費の半分（200～300万円）を貯めましょう（推薦入学で早めに決まる場合もあるので、夏頃を目安に）。

### ■積み立ての効果「時間を味方にする！」

毎月の積立額	1年	5年	10年	15年	18年
5000円	6万円	30万円	60万円	90万円	108万円
1万円	12万円	60万円	120万円	180万円	216万円
2万円	24万円	120万円	240万円	360万円	432万円
3万円	36万円	180万円	360万円	540万円	648万円
5万円	60万円	300万円	600万円	900万円	1080万円

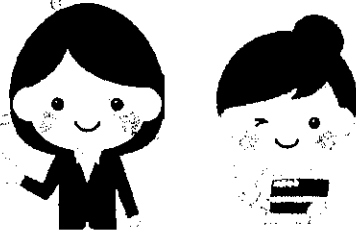
Financial Policy Money Station 2016 ver.2016

学資保険は満期で100～200万円なのでこれだけとやや不足です。

どの商品でもいいので目標額を決めて貯めましょう。



中学高校時代は家計で賄える範囲でやりくりして、教育資金用貯蓄には手をつけられない努力を。



### ■我が家の教育費の算出シート

小学校にかかるお金	円
中学校にかかるお金	円
高等学校にかかるお金	円
大学にかかるお金(短大・専門学校)	円
我が家の必要額	合計 円

そのうち、貯蓄の目標とする金額 円

学資保険等（すでに準備中のお金） 円

不足額（これから準備するお金） 円

Financial Policy Money Station 2016 ver.2016

## 教育費：大切なのは家族での話し合い

家庭で教育費算出シートを作成してみましょう。

大切なのは家族で話し合い、我が家の方針と価値観を決めることです。

日本はお金のことを口に出すという文化がありませんが、まずはお金について家族で話すことに慣れてください。家族としてどのように選択していくのか、それは親だけでなく子どもも考える必要があるはずです。

子どもには金額だけではなく、どういう進路を歩んで欲しいか、という想いを伝えましょう。金額だけを切り離して親だけが準備するということなく、親子のコミュニケーションを大切に、時間をかけて丁寧に向き合う必要があります。

### 親子で話し合い、想いを伝えましょう

- できれば大学に行ってほしい？
- 手に職をつけてほしい？
- 本人の希望次第？
- 親から自立してほしい？
- な人になってほしい？ …etc



## おこづかい教育：いつから？いくら？渡し方は？

おこづかいをもらっている子どものほうが判断力が高い、というデータがあります。

子ども自身がものを買う時はお金に対する判断なので子どもはやりくりを考えますが、親が買ってくれる時は親の機嫌に対する判断だからです。

おこづかいを始めたら、長い人生のお金の付き合いだと考えて大らかに見てあげましょう。

### ■おこづかい教育（1）

#### いつから？

- ① お金という概念を理解している。
- ② 欲しいもの・買いたいものがある。

#### いくら？

なにを子ども自身が買うかによって決める。

#### 【おこづかいの3つの方法】

#### 定額制

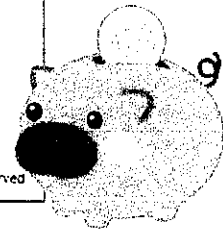
1週間や1カ月など一定の期間に、一定の金額を渡すもの。

#### 報酬制

お手伝いなどの働きに応じて、おこづかいの金額が決まるもの。

#### ミックスしたもの

報酬制と定額制をあわせたもの。



Copyright © Kid's Money Station All rights reserved

	メリットとデメリット	デメリットについての対応
定額制	<ul style="list-style-type: none"> <li>☺ 計画を立てやすい</li> <li>☺ 「月末になるとお金がもらえる」と思うようになり、本来お金は労働の対価であることがわからなくなる</li> </ul>	<p>お金について話し合う機会を持つことでカバー（親が一生懸命働いたものだということを伝えましょう）</p>
報酬制	<ul style="list-style-type: none"> <li>☺ 労働の対価であることを学べる</li> <li>☺ 家のお手伝いは家族の一員として当たり前なのに、あれをしたら10円、これをしたら5円、となり守銭奴っぽくなる</li> </ul>	<p>お手伝いは家族の一員として当たり前というのを教えた上で、一つだけお仕事としてやることを決めてそれに対しておこづかいを渡す、ということでデメリットを克服</p>



性格によって方法を変える、という考え方も。お金を通して社会の仕組み、労働の対価を学ばせるのを本来の目的とすることが大切です。

## おこづかい教育：管理方法③+1

おこづかい帳は、つけられない人はつけなくてもよいです。

管理は3+1に分けて行いましょう。

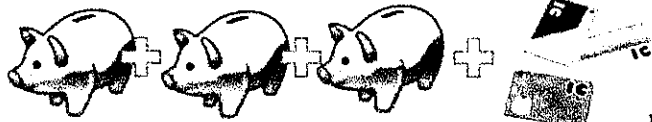
3は①自由に使うお金・②人のために使うお金・③いざという時の為のお金、1は交通費、電子マネーです。

### ■おこづかい教育（2）

#### 1) おこづかいちょうをつける(メモ、レシート)

#### 2) 3+1に分けて、管理をする

じゆうに ひとの いざという  
つかう ために ときの 交通費  
お金 つかうお金 ためのお金(貯蓄) 電子マネー



最近の曲者は電子マネーです。交通費として渡していたつもりがペットボトルや食事に化けていた、電子マネーが打ち出の小槌のようになっているケースもよく聞きますので用途をきちんと決めておくことが大切です。購入履歴も管理できるので最初はそれを目安とするのも一案です。

## おこづかい教育：失敗は未来の成功に

大人にとっては当たり前のことも子どもにとっては初めてのことです。

毎日お金を数えるなど、守銭奴的になったりすることもあります。通過点として見てあげてください。最初は失敗をさせてもよいのです。その失敗が大人になっての成功につながります。

おこづかいは、使うことと貯めること、大人でも難しい二つのことを学んでいるんだ、と思って大らかに成長を見守ってあげるとよいでしょう。

今後10～20年程度でアメリカの総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高いと言われています。今、お金と向き合うことで家族の絆を深めていくことが大切です。

ぜひ親子でコミュニケーションを取りながらお金のことを考えてみてください。

そして、今日得た知識をぜひ知恵に転換し具体的に一つか二つ実践してみてください。

### おこづかいを成功させる5つのポイント

- ①徐々にステップアップする（金額・期間）
- ②貯めるだけでなく、使う楽しさを知る
- ③おこづかい帳は無理につけない
- ④家庭内でルールをつくる
- ⑤子ども時代の失敗が大人になっての成功に



## 【講演後アンケート（抜粋）】

### ■本日の講演を聞いて、是非実践したいと思ったことがありましたらお聞かせください

教育費については「家族会議を開いて子どもと将来について会話したい」「教育費の目安や貯め方がわかったので実践したい」という声を、おこづかいについては「報酬制と定額制のミックスを早速やってみたい」という声をたくさんの方からいただきました。

- ◇ 「親子で学びながら生きていく時代」というのはとても実感しています。家族でお金のことをじっくり話し合う大切さを改めて知ったので、まずは話し合いから実践し、子どもにお金の管理を任せていくことも実践したいです。
- ◇ 家庭の中で1つ「仕事」を決めてそれを報酬制とするおこづかいの決め方はいいなと思いました。労働の対価としてお金がもらえるのだということ、当たり前のことですが、改めて子どもに話せたらと思いました。
- ◇ 教育費について、子どももまじえて希望や目標を考える家族会議を開きたい
- ◇ 今回お話を聞いて、自分でお金を管理することを学ばせたいと思いました。失敗があると思いますが、何度もくりかえして自分自身のお金の大切さを実感してもらいたい！
- ◇ 今までマネープランニングをした事がなかったので、子どもが小さい今のうちに少し考えてみたいと思いました。又、この機会に投資も思い切って始めたいと思います。
- ◇ 定額制のおこづかいをあげているのですが、渡す時に「パパ、ママが一生懸命働いたお金だよ。」と一言添えて渡したいと思いました。

### ■その他、本日の講演会についてのご感想・ご意見をお聞かせください

「時間を味方にする」「お金は労働の対価」という言葉が響いた、「お金について前向きに考えられるようになった」というたくさんの声と共に、私たちと同様に子育てをしている先生の話をも身近に感じ共感したというご意見をいただきました。

- ◇ 子どもに裁量を任せて、たくさん失敗したほうがいい。お金はパワーがあるという認識。家計簿はつけられないけど、家計管理はできるという言葉が印象に残った。
- ◇ 「知識のままではなく、知恵にする」ということを伺い改めてアウトプットの重要性を実感しました。
- ◇ 親子の絆を大切にすることを語られていたのが印象的でした。
- ◇ 教育費を考える前に、子どもがどうなってほしいか、どうなりたいと思っているのかを親子で話し合っていきたいと思いました。
- ◇ 「お金の働いてもらう」というのが印象的でした。
- ◇ お金に対して苦手意識がありましたが、お金は大切な生活の道具で、パワーがあるということにとっても共感しました。
- ◇ 親が全てを教えることが出来る時代ではないと気づきました。親自身も時代の様々なことにアンテナを張って、子どもと積極的にコミュニケーションを取りたいと思います。
- ◇ 先生のお話の中で、未来の計画を立てることで今どうしたらいいかを考えることが大事という話を聞き、莫大なお金がかかるという思いではなく、身近なことだと再度気づきました。

たくさんのご意見・ご感想をありがとうございました。

-船橋希望学舎-

世田谷区立船橋希望中学校 P T A・希望丘小学校 P T A・千歳台小学校めばえの会・船橋小学校 P T A